



県内主要産業の動向

2019年5・6月

◎順調 ○まずまず ◐やや低調 ●不調

業種	景況			コメント
	19年4月	19年5月	先行き	
金属洋食器	●	●	→	受注は業務用・個人向けがともに低調。輸入品など安価な製品との差別化を図り、品質やデザイン性を重視した高価格帯の製品作りに取り組む先もみられる。足元では、東京で開催した即売会が好調だった模様。8月にも開催を予定しており、新たな販路開拓に期待を寄せる。
金属ハウスウェア	●	●	→	受注は引き続き低調。テレビ等で紹介された一部の高性能性の家庭用に動きがみられるが、飲食店など業務用の受注が伸び悩んでいる。外注工賃等が上昇しているが、国内需要が低迷する中で販売価格への転嫁は依然として厳しく、一部にとどまっている模様。
作業工具	◐	◐	→	国内販売は、春先の需要期が過ぎ生産、販売ともに一服感。建築需要が弱含みの中、関連工具類の一部に低調な動きがみられる。輸出は、東南アジア向けを中心に堅調。鋼材価格の高止まり等コスト上昇が続き、製品価格を改定せざるを得ない状況にあるが、受注先の確保に課題も。
電子部品・デバイス	◐	◐	→	受注は弱含み基調が続く。半導体製造装置向けは、中国を中心とした海外需要が引き続き落ち込んでいる。携帯端末向けは、スマホの販売不振が続き低調に推移。車載や医療機器向けは、用途により明暗が分かれる。米中摩擦の長期化懸念から、業績の見通しを慎重にみる向きが多い。
鋳物	◐	◐	→	受注は前年割れが続く。半導体、建設関連では需要が一巡し足踏み状態。自動車関連ではトラック、車載器が堅調なもの、内燃機関等の品目は伸び悩み。工作機械では小型建機に動きあり。そうした中、船舶関連では燃料油の規制強化に伴う新規需要がみられた。
金型	○	○	→	受注は横ばい。自動車関連は米中摩擦の長期化で車載器、車体部門とも足踏み状況。需要が一巡した建築金物では、耐震補強材などで動きがみられた。県央地区の暖房機は前年水準を確保。そうした中、補助金を活用した設備の更新が底堅く続いているとの声が聞かれた。
一般機械	○	○	↘	外需は、米国向け航空機・宇宙関連が引き続き順調だが、中国向けは徐々に米中摩擦の影響が現れてきている。内需も、省人・効率化投資は続く一方、投資様子見の拡がりもみられ、より慎重な見方が必要。足元では、欧州にも影響が滲んでいるとの声も聞かれ、米中の展開次第。



業種	景況			コメント
	19年4月	19年5月	先行き	
絹織物	●	●	→	十日町産地の5月の生産高は、先染めなど比較のカジュアルな着物が前年を上回った。また、複数のイベントや商談会が開催され、産地全体が盛り上がった。五泉産地の生産高は前年割れ。先行き不透明感は強いが、白生地素材を活かしたストールを百貨店で販売するなど新たな活路を模索する先もみられる。
合織織物	●	●	→	秋物生産最終期。店頭は高級品の販売が堅調ながらも、主力の定番品では苦戦。追加受注に乏しく、受注は総じて低調。産地の一部では端境期入りし、来年春夏物の見本製作を始める企業もみられる。足元では、環境対策の影響から中国製の染料価格が上昇しており、収益圧迫要因に。
ニット	●	●	→	秋冬物受注・生産期。アパレル側の発注抑制姿勢がみられ、受注は総じて低調。10月の消費増税を控え、動き出しが鈍い。店頭も消費者の節約志向から前年割れの状況が続いている。そうした中、一部メーカーでは、県内有名モデルと共同で新ブランドを立ち上げ、産地をPRする動きがみられた。
木工家具	●	●	→	業務用では、閑散期に入り総じて低調。飲食店向けの一部に動きがみられたものの、小口受注にとどまる。家庭用では、大型製品の不振から桐製小物やアイデア製品へ注力する動きが続く。行政がふるさと納税の返礼品として後押しする他、従来限定していた販路を一般小売店へ拡大する業者も。
清酒	●	●	→	5月の出荷量は、連休の関係で4月に出荷を前倒しした反動もあり、県内・県外向けとも前年を下回った。販路別では、飲食店向けが引き続き不振。酒類別では、本醸造酒・普通酒が伸び悩む。足元の出荷も低調との声が多く、各酒蔵とも夏向け商品等で需要喚起に努めている。
米菓	◐	◐	→	5月の売上は、前年をやや下回った。4月に大型連休の前倒し出荷があったことに加え、後半の気温上昇がマイナスに影響した。足元では、おつまみ向けが堅調で持ち直しつつある。夏の不需要期を前に各社とも季節限定品の投入や、キャンペーンの開催など需要喚起に努めている。
建設	◐	◐	→	公共工事は、前年度補正予算及び今年度当初予算の執行を受けて持ち直し基調。発注者別では、国・独立行政法人等・市町村で伸びている。民間工事は、製造業を中心に底堅く推移しているものの、足元でやや一服感もみられる。住宅建設は、総じて力強さに欠ける状況が続く。
大型小売店	◐	◐	→	5月の売上はほぼ前年並み。天候は比較的安定しており、客足は前年を上回った。婦人雑貨と高級ブランドは好調を維持するが、婦人を中心とした衣料品は弱い。食品は品目ごとに強弱はあるが、全体としては安定。電気製品ではエアコンの動き出しが早く、売上に寄与。